

宇都宮市立横川中学校第3学年生徒質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか？」の肯定的回答が53.8%と県や全国平均を上回っている。また、「家で、学校の授業の予習をしていますか？」が10ポイント上回っている。「家で、学校の予習をしていますか？」が10ポイント以上上回っている。家庭学習が定着している傾向が見られる。定着していない生徒に対しては、学年集会や学級活動、または担任から個別に指導する機会を定期的に設けていく。

●「1,2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか？」の肯定的回答が86%ではあるが、県平均より2.7ポイント下回っている。「1,2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動を行っていたと思いますか？」でも、肯定的回答が84.2%ではあるが、県平均より1.9ポイント下回っている。「言語活動の充実」が学校課題であるため、引き続き生徒の思考力・判断力・表現が身につくような授業の工夫に取り組んでいきたい。

○「1,2年生のときに受けた授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)が記されていたと思いますか？」の肯定的回答が、92.5%であるが、「1,2年生のときに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか？」の肯定的回答が、62%である。家庭学習の計画に生かせるような「振り返り活動」の工夫に取り組んでいきたい。

○「朝食を毎日食べますか」の問いに、「している」と答えている生徒の割合が86.7%、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」の問いに、「している」と答えている生徒の割合が36.1%でそれぞれ県や全国を上回っている。規則正しい生活を心がけている生徒が多いので継続してほしい。また、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」の問いに、「当てはまる」と答えている生徒の割合が81.6%で県や全国を上回っている。いじめに関する集会や授業を通して、善悪の判断がついてきている。さらに取り組んでいきたい。

●「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか」の問いに、「当てはまる」と答えている生徒の割合が47.5%、「学級でみんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか」の問いに、「当てはまる」と答えている生徒の割合が44.9%でそれぞれ県や全国を下回っている。思いやりの気持ちを持って、他と協力することが苦手である。「集団の力」が向上するように個々に働きかけるとともに、達成感を得られるような活動をさせていきたい。

●「将来の夢や目標を持っていますか」の問いに、「当てはまる」と答えている生徒の割合が41.8%で県や全国を下回っている。進路学習などを通して将来に希望をもたせたい。

●「学校に行くのは楽しいと思いますか」の問いに、「当てはまる」と答えている生徒の割合が38.0%、「学校の規則を守っていますか」の問いに、「当てはまる」と答えている生徒の割合が44.3%でそれぞれ県や全国を下回っている。社会はルールを守ることによって安全安心に暮らせることをしっかり自覚させ、「今日が楽しく明日が待ち遠しい学校を」作り上げたい。